

妙安寺だより 400

釈尊成道会（しゃくそんじょうどうえ）

紀元前600年頃、12月8日、お釈迦様35才の時、インドのブッダガヤにあるの下で、悟りを開かれ、ブッダ（仏陀）となりました。これをお祝いする法要が、「釈尊成道会」です。

この後、80才でに入る（亡くなる）まで人々に教えを説き、これを仏教といいます。

簡単にいうと、人間の生きるべき道を明らかにした教えです。人生の苦しみ（四苦＝生・老・病・死）から脱して、自由の境地（涅槃）に至るための関係性を明らかにしたもので、道徳的に悪い行いをせず、生活を清める、（次号解説）の実践を説かれています。

当初は口伝で伝わってきましたが、文字の発明により文章化され、中国の翻訳僧により現在のお経文

になりました。そのためお経は「（かくのくけり）」から始まります。

経典の数は、八千巻とも八万巻あるともいわれています。

12月の行事予定

12月2日(土) 午後2時より 勉強会

*12月28日より30日は18時に、それ以外の日は17時に閉門します。

*護持会会費未納の方は、お納めください。不明の方は受付にて問い合わせ下さい。

*月回向以外の法要(法事・祥月命日)を申し込まれた方は、1週間前に確認の電話をお願いします。(過去に、日にち・時間・場所の相違がありました。)

*「地涌の声」の功德主を募集いたします。ひと月につき5千円です。希望月とお代を添えて申し込み下さい。先着順になりますので、了承ください。